

2015/7/30(木)例会

<会長報告>

本日、理事会が40分ほど行われました。皆様ご苦労様でした。

来週8/6卓話講師は、直前ガバナー「鈴木孝雄特別代表」で、演題は「セントルイス宣言について」でございます。セントルイス宣言については、お手元の資料で勉強していただき、ご質問などをしていただき、例会を盛り上げていただきたいと思います。

8月は、旧名称、“会員増強・拡大月間”として今まで何十年もロータリーとして、やってきましたが、今月新名称として拡大月間が「会員増強・新クラブ結成推進月間」に変わりました。わかりやすく推進につながると歓迎致しましょう。

ガバナー月信の3ページの鈴木直前ガバナーが8月の拡大増強月間の挨拶が掲載しております。増強しないとクラブが活性化しないし、拡大を行っていかないとロータリーは消滅するとも書いておられます。その挨拶に呼応するように私共「御苑ロータリークラブ」の「チャーターナイト」の写真と報告が下部に掲載されております。鈴木直前ガバナーの思いを無にすることなく、応援していかなければならないと思います。皆様よろしく願いいたします。

私はクラブではこういう話しはあまりしたことがないのですが、今日は少々致します。

そもそもロータリーは、100年以上前、アメリカのシカゴにおいて、株が暴落し、暴動が起こる寸前、治安と社会信用がなくなった時代に、ポール・ハリスが、お医者さん、材木屋さん、石油等を扱っている友人を集めて議論をしたというのがはじまりです。信頼できる仲間が集め、そして仕事も一緒にやろうじゃないかと。そして仲間が増え、その考えが広がってきますと理解され、隣の町・隣の国へと広がって行きましたが、大問題もあつたんですね。

第一に宗教の問題です。あれが良いとか、悪いとか言えないわけです。自分の先祖伝来信じている宗教がみな一番立派であると思っている。したがって宗教問題については個人の自由に任せて関知するのはよしましょう、ということになったわけです。

二番目はアメリカには民主党、共和党などがあります。共和党支持者もいれば民主党支持者もいます。そして政治問題については良いとか、悪いとか言っても不毛の論議でした。ですから右だ左だという論議はやめましょうと。この2つ、宗教の問題、政治の問題について論議関知しないで、宗教は「宗教家」に、政治

は「政治家」に任せる。こういう不文律を引いてその後、ロータリークラブは大きく発展して行くのです。

そして10年、20年とロータリー運動を続けているうちに、心のゆとり、経済的なゆとりが出来てきました。「ロータリー会員」だけが幸せでいいのかと議論が進み、困っている学校、幼稚園、社会的な問題について、奉仕していこうということで現在のロータリークラブの原型になって参りました。

国際ロータリーは、政治問題、宗教問題を乗り越え、奉仕に向かって走っているんだということを頭に置いてください。

そして当初の名残が一業種一社というのがあります。今、若干それがゆるやかになっていますが、精神的な学び合いだけではなく「仕事も会員間でまわしあおうよ」ということが原点にあります。御苑ロータリーは職業分類3,000業種中より選ばれた50名足らずですので、残りの2,950業種は未充填の空席です。増強委員会の方は未充填を埋めていただく為の活動をしていただきたいと思います。

8/1園山さんの、消えようとするビッグバンドを保存しようとするイベントが予定されており、新宿地区の法人、商店さんには15,000枚ほどの案内チラシがFAXされております。そのイベントは、東京御苑ロータリークラブ他が後援となっております。「御苑ロータリークラブはこういうことをしています」と広告することで仲間も増えるでしょうし、社会普及につながると思っています。よく読んでいただいて、問い合わせがありましたら、皆様それぞれで答えていただき、増強、社会普及に務めていただければと思います。皆様よろしくお願いたします。